

事業所名

児童発達支援 放課後デイあかり

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

5 日

法人（事業所）理念		（あ）安心安全をモットーに （か）快適な暮らしを目指し （り）利用者の自立を支援します								
支援方針		利用者様及び利用児童の保護者様の意思及び人格を尊重し、利用者様及び利用児童の保護者様の立場に立った適切なサービスの提供を行います。安心、安全な居場所となり自分の思いや考えを表現できるように支援します。楽しいを通して、小学校入学に向け、コミュニケーションをとる力や、集団の中で自分の思いや考えを表現すること、書く、読む、理解する力が向上するように支援を行います。保護者様に小集団の活動への参加や観察を通して、児童の得意なこと苦手なこと、環境の整え方の理解が深まるように支援を行います。								
営業時間		9 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を聞き取りや観察によって把握します。 生活の中での課題を保護者様から伺い、個別支援計画として取り組みます。 通所時の身辺処理（靴の着脱や靴箱にしまうこと、荷物の整理など）を利用者様に合わせ実施し、習慣化出来るように支援しています。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養います。 感覚統合遊びを通して、楽しみながら身体の発達を促します。（粗大運動・微細運動） 感覚や認知の特性を考慮し、環境調整等の提案及び支援を行います。 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて支援を行います。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことが出来るよう支援します。 利用者様の特性や能力を観察し、活動を提供します。 活動を通して興味の幅を広げ、様々な体験ができるように支援します。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 一人一人の発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができるように支援します。（言語、指さし、身振り手振り、サイン等） 主体的に話したくなるような環境を作り、自発的に楽しく話すことを通して伝える力が向上するように支援します。 具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得や自発的な発声を促す支援を行います。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 思いに寄り添った言葉がけに努め、職員と利用者様の良好な関係形成を図ります。 他者との適正な距離感の把握が出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。 ルールや順番を守ることや、協調した関りを持てるように支援します。 小集団の中で自分の思いや考え描いた絵などを表現し、集団の中で自分のことを伝える力をつけられるよう支援します。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の療育への参加や観察を通して利用者様の理解を深められるように支援します。 療育後の振り返りや、定期的な面談等により不安や困りごとへの相談援助を行います。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、就学前の関係機関との情報共有や情報提供に努めます。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携を強化し、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援します。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 採用時研修 内部研修（月に1回） 外部研修 例会（月1回） 			
主な行事・レクリエーション等		<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じられる工作 								